

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【春里中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 令和6年度さいたま市学習状況調査の知識・技能の学校平均正答率が、市平均正答率を下回っている教科が学年問わず多くを占めている。 <指導上の課題> 生徒が自ら学びを振り返る時間を確保できていない。	・ドリルパーク「スタディサプリ」等を活用し、基本的な計算等の反復に取り組むことにより「個別最適な学び」を推進する。【通年・隔週】 ・毎日の記録授業アンケートを活用し、生徒の学習習慣の定着を図る。【通年・未来くるタイム実施時】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 学習に対して意欲的ではない場面が見られる。 <指導上の課題> 生徒主体の学びとなるような授業が少ない。	・定期テスト前に学習会や質問会を設け、学習スペースによる自主学習を促す。【通年・定期テスト前】 ・家庭学習において、スタディサプリやドリルパークの活用を促す。【通年・長期休み毎】 ・「学びの指標」において「主体的な学び」の項目を、年度内調査において向上させる。【通年・2回】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)